AUD / JPY　豪ドル円　月次レポート

前月振り返りと2026年11月の相場展望

発行日	対象期間	通貨ペア	発行頻度
November 5, 2026	10月実績 ／ 11月展望	AUD / JPY	Monthly

10月末レート（終値）

110.781

+1.35%　（10月月間騰落率）

10月高値	10月安値
111.559	108.630

RBA金利	BOJ金利
4.85%	1.25%

今月のハイライト

- 10月は**109.31円でスタートし、110.78円で引け、月間+1.35%**となった。月中は108.63〜111.56円のレンジで推移した
- **RBAは10月に会合がなく、キャッシュレートは4.60%で継続**。その後、11/3の会合で4.85%への利上げが決定された（賛成6対反対3）
- **日銀は10/29-30に政策金利を1.25%で据え置き**（賛成8対反対1）。展望レポートでは基調的な物価上昇率が2%目標とおおむね整合的な水準にあるとの判断が示された
- 10月末時点の計算上の豪日金利差（RBA4.60%－BOJ1.25%）は3.35ppと前月と同水準。11月の利上げ観測が豪ドルの支援材料になった可能性がある

11月 基本シナリオ レンジ

107 – 114円

11/3にRBAが4.85%へ利上げ。次回はRBA 12/7-8、日銀12/17-18

豪日政策金利差

3.60pp

RBA4.85%－BOJ1.25%＝計算上の単純比較で3.60pp。11/3のRBA利上げにより0.25pp拡大

For Information Purposes Only

AUD / JPY

2026年10月　相場振り返り

10月末レート
110.781
▲ +1.35%

始値	高値	安値	月間騰落
109.306	**111.559**	**108.630**	**+1.35%**
10月最初の取引日	月中最高値	月中最安値	+1.475円

10月の相場動向

10月の豪ドル円は**109.31円でスタート**し、月中は**108.63〜111.56円**のレンジで推移した。RBAは10月に会合がなかったが、9/29の利上げ後も一部の市場参加者の間では11月会合での追加利上げを見込む見方があったとされ、豪ドルの支援材料になった可能性がある。

日銀は10/29-30の会合で政策金利を1.25%で据え置いた（賛成8対反対1）。計算上の豪日金利差（RBA4.60%－BOJ1.25%）は3.35ppと前月と同水準で、豪ドル円は**110.78円で引け、月間+1.35%**となった。豪ドルは引き続き、商品市況や中国の景気動向の影響を受けやすい通貨とされる。

主要イベントの影響

AU RBA / 10月は会合なし・11/3利上げ

- **10月は金融政策会合が開催されなかった**（9/29会合で4.60%へ利上げ、賛成9対反対0）
- 11/3の会合ではキャッシュレートを4.60%から4.85%へ引き上げ（賛成6対反対3、反対の3名は据え置きを主張）。2026年5回目の利上げで、2008年以来の高水準
- 声明では追加利上げに関する表現が削除されたと報じられた。次回会合は12/7-8（決定発表12/8）

JP 日銀 10月29〜30日 据え置き

- **政策金利（無担保コール翌日物レートの誘導目標）を1.25%で据え置き**（賛成8対反対1）。1名の委員は1.50%への利上げを提案したが否決された
- 展望レポートでは、基調的な物価上昇率が2%の物価安定の目標とおおむね整合的な水準にあるとの判断が示され、2027年度の物価見通しが上方修正された
- 植田総裁は会見で12月会合での利上げの可能性を排除しなかったと報じられた。次回会合は12/17-18

10月の総括

10月はRBAの会合がない中、11月会合での追加利上げ観測が豪ドルを支えた可能性がある。日銀は政策金利を据え置き、計算上の豪日金利差は3.35ppと前月と同水準にとどまった。豪ドル円は月間+1.35%と上昇した。なお、RBAは11/3の会合で4.85%への利上げを決定した（賛成6対反対3）。今後の政策方針に関する示唆と、12月の日銀会合に向けた観測が、方向性を見極める材料となりうる。

AUD / JPY

2026年11月　相場展望

10月末終値
110.781
10月末時点

11月の注目ポイント

11/3のRBA会合では、キャッシュレートが4.60%から4.85%へ引き上げられた（賛成6対反対3）。3名が据え置きを主張したことや、声明で追加利上げに関する表現が削除されたと報じられたことから、市場では利上げ局面の終盤を意識する見方も出ているとされる。今後は次回12/7-8の会合に向けて、豪州の雇用・インフレ指標が注目される。計算上の豪日金利差は利上げにより拡大したが、市場の織り込みが進んでいたとされる中、豪ドルへの影響は限定的となる可能性もある。日銀は次回会合が12/17-18で、12月の利上げ観測の変化が円相場に影響しやすい。

シナリオ別レンジ予測

強気	25%	豪州指標が底堅く、RBAの追加利上げ観測が再び強まり豪ドル高	111 – 116円
基本	50%	RBA利上げ後、日銀の12月会合をにらんだレンジ推移	107 – 114円
弱気	25%	日銀の12月利上げ観測の強まりや商品市況の下落で豪ドル円下落	104 – 109円

リスク要因

リスク要因	確率	方向	概要・影響
RBAの今後の政策方針（次回12/7-8）	中	両方向	11月の利上げでは3名が反対。追加利上げ観測が後退すれば豪ドル安要因、再び強まれば豪ドル高要因となりうる
日銀の12月利上げ観測の強まり	中	円高	追加利上げ観測が強まれば豪日金利差の縮小が意識され、円買い要因となりうる
商品市況・原油の下落	中	豪ドル安	資源国通貨として商品安は豪ドルの重しとなりやすい
中国景気の下振れ	中	豪ドル安	最大の貿易相手国である中国の減速は豪ドルの重しとなりやすい

11月の見通し

基本シナリオは**107〜114円のレンジ**とみている。11/3のRBA利上げにより計算上の豪日金利差（RBA4.85%－BOJ1.25%）は3.60ppに拡大し、下値を支える要因になりうる。一方、RBAの利上げ局面が終盤に近いとの見方が強まれば上値が抑えられる可能性もあり、豪州の経済指標と日銀の12月会合に向けた観測に留意したい。

用語解説

RBA（豪準備銀行）
オーストラリアの中央銀行。11/3会合で4.85%へ利上げ（賛成6対反対3、2026年5回目）。次回は12/7-8（決定発表12/8）。

日銀（BOJ）
日本銀行の略称。10/29-30会合で政策金利を1.25%で据え置き（賛成8対反対1）。次回は12/17-18。

クロス円
米ドルを介さない円と他通貨の交換レートの総称。豪ドル円はドル円と豪ドル米ドルの動きに影響を受けやすい。

資源国通貨
鉄鉱石や石炭など資源輸出の比率が高い国の通貨。豪ドルは商品市況や中国の景気動向の影響を受けやすい。

政策金利 / 金利差
中央銀行が設定する基準金利。RBA4.85%とBOJ1.25%の差は計算上の単純比較で3.60pp（11/3時点。為替の方向を保証するものではない）。

キャリートレード / 巻き戻し
低金利通貨（円）で高金利通貨を運用し金利差収益を狙う取引。リスク回避時の一斉解消は円高要因となりやすい。

免責事項
- 本情報は、AI（Anthropic社が提供するClaude）（以下、情報提供者）が作成し、GMOあおぞらネット銀行株式会社（以下、当社）がお客さまに提供いたしますが、当社および情報提供者が参照した情報およびそれに基づく情報提供者の見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
- 本情報は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本情報で言及した通貨や投資戦略は、投資に関する経験や知識、経済状況および投資目的が異なるすべてのお客さまに、一律に適合するとは限りません。
- 投資判断の最終決定は、お客さまご自身の判断で行っていただきますようにお願いいたします。
- 本情報に記載された内容は、公開時においては最新の情報でない可能性があります。
- 本情報に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、当社および情報提供者は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- 著作権等：本情報に係る著作権その他の知的財産権は、別段の表示がない限り、当社に帰属するものとします。